



にしまつ さちこ
西松 幸子

質問
QUESTION

避難所開設マニュアルの早期作成を!

回答
ANSWER

避難所開設訓練の普及に努めます

[総務課長]

質問

最大震度7を二度観測した熊本地震から1年。関連死を含めて250人が犠牲になり、被災者支援のため、多くの専門家が現地で支援してきました。

飛騨市の保健師は、避難所には大勢の人が寝泊まりしていますので、消毒液を置く場所、ゴミの分別や処理、体調が悪い人を別の場所に移すなど、予防対策の重要性を指摘されました。また、益城町を中心に活動した医師は避難所では間仕切りがなく、感染症を患った被災者がいたら危険だったので、「衛生に

配慮したレイアウトや感染予防の注意点などをまとめた避難所開設マニュアルを作っておき、各所に置くべきだ」と提案しています。

本年5月9日、「災害時応援協定」が西南濃6町で結ばれました。協定では、災害時に相互に食料や生活必需品の提供、職員の派遣、被災者の受け入れなどを必要に応じてするこ

とが定められています。そうしたことから、どう備えるか、多岐にわたりますが、今回避難所の衛生面について、お尋ねします。専門家が提案している避難所開設マニュアルの早期作成が必要であると考

えます。当町では作成してありますか。
[回答] 県では、平成28年の熊本地震、近年の台風や集中豪雨



避難所開設に向けた訓練で受付をする住民
(5月21日/中組区防災訓練にて)

質問
QUESTION

入学準備金は入学前にこそ支給を

による教訓をもとに、「避難所運営ガイドライン」が本年3月改訂され、衛生面も教訓が生かされた内容となっています。これを受け、

町のガイドラインも改訂し、防災訓練等の機会に避難所開設訓練を取り入れ普及に努めていきます。

回答
ANSWER

実施に向けて検討します

[学校教育課長]

質問

就学援助は、小・中学校の子どもがいる家庭で経済的困難があるとき、学校にかかる費用を市町村が支給する制度です。新入学児童生徒に対する入学準備金の支給を、入学時に間に合わせる自治体が増えてきています。「就学援助は一番お金が要る時期にこそ支給すべき」ではないでしょうか。また、保護者への広報はどの

ようになっていますか。就学時健診時にお知らせしたらどうでしょうか?

回答

入学の際には多くの費用が必要となることから、入学前支給の実現に向けて前向きに検討します。入学前支給を決定した場合には、10月開催の「就学時健康診断」の際にお知らせします。